

2018年度JPPF強化指定ランク表

評価基準	
(2017年度の各自の自己ベストを基準。2018年度に入って出された記録は、大会終了翌日より、各指定ランクに入れる)	
Aランク	アジア標準並びにパラリンピック参加標準を突破している選手
Bランク	アジア標準を突破しているが、パラリンピック標準を突破していない選手
Cランク	アジア標準まで後10%記録を伸ばせば届く選手

合宿、海外遠征等の助成額について		(それぞれ、助成対象事業に対して)
Aランク	100%補助	(助成対象事業でない場合は、各ランクにかかわらず全額自費参加とする。)
Bランク	70%補助	
Cランク	50%補助	

ランクアップについて	
(下記大会で出した記録は、ランクアップ対象記録となる。)	
● 2018年5月12日～13日 チャレンジカップ京都	
● 2019年2月2日～3日 全日本選手権	
● IPC公認国際大会	

合宿参加について	
[NEW]	(2018年6月以降)
2018.5.15追加	* 強化指定各ランク助成対象事業に対して、原則、参加とする。 ただし、ただし、京都と東京の交互開催となるので、どちらか、自宅から近距離の合宿に参加すればよいものとする。 * 年度末に合宿参加者参加率を出し、参加率の少ない選手については、ヒヤリングを実施するものとする。

2018年12月22日現在のランク

大会開催日		2017.12.3～	2017.12.10	2017.12.17	1218.5.12～	2018.9.8～	2018.10.5～	2018.12.6～	突破者									
ランク	氏名	性別	階級	世界選手権 (メキシコ)	アジアユース	全日本	チャレンジカップ	アジアオセアニア 選手権	アジアパラ	アメリカ選手 権	2017-2018 ベスト記録	アジア 標準	パラ 標準	アジア 標準 突破	パラ標準 突破	アジア標準 に対する持ち記 録割合	世界選手権 標準	世界標準に 対する持ち記 録割合
A	小林浩美	女子	45	55	x	x	55	58			58	55	60	○	○		57	101.75
	三浦浩	男子	49	116.0	x	117.0	120.0	116.0	121.0		121	95	105	○	○		100	121.00
	加藤尊士	男子	49	x	x	x	105.0	117.0			117	95	105	○	○		100	117.00
	奥山一輝	男子	49	102.0	107	105.0		109.0			109	95	105	○	○		100	109.00
	西崎哲男	男子	54	135.0	x	x	130	132	130		135	105	115	○	○		110	122.73
	戸田雄也	男子	59	121	x	125.0		126.0	132.0		132	115	125	○	○		120	110.00
	田中翔悟	男子	72	129	x	125.0	125.0	146.0			146	132	142	○	○		137	106.57
	樋口健太郎	男子	72	x	x	136.0	160.0	165.0	171.0		171	132	142	○	○		137	124.82
	斉藤伸弘	男子	72	145	x	x	146				146	132	142	○	○		137	106.57
	宇城元	男子	80	181	x	178.0			147.0		181	140	150	○	○		145	124.83
大堂秀樹	男子	88	160	x	168.0	194.0	195.0	195.0		195	140	157	○	○		152	128.29	
中辻克仁	男子	107	190	x	194.0		198.0	195.0		198	162	172	○	○		167	118.56	

大会開催日		2017.12.3～	2017.12.10	2017.12.17	1218.5.12～	2018.9.8～	2018.10.5～	2018.12.6～	突破者									
ランク	氏名	性別	階級	世界選手権 (メキシコ)	アジアユース	全日本	チャレンジカップ	アジアオセアニア 選手権	アジアパラ	アメリカ選手 権	2017-2018 ベスト記録	アジア 標準	パラ 標準	アジア 標準 突破	パラ標準 突破	アジア標準 に対する持ち記 録割合	世界選手権 標準	世界標準に 対する持ち記 録割合
B	坂元智香	女子	73				61.0	67.0			67	67	72	○			70	95.71
	市川満典	男子	54				108.0	103.0			108	105	115	○			110	98.18
	光瀬智洋	男子	54	x	x		105.0	109.0			109	105	115	○			110	99.09
	村井都雅夫	男子	59	DSQ	x	117.0	115.0				117	115	125	○			120	97.50
	岡田有史	男子	59	x	x	115.0	110.0	113.0			115	115	125	○			120	95.83
	佐野義典	男子	65	x	x	127.0	134.0	130.0			134	125	135	○			130	103.08
	城隆志	男子	65	DSQ	x	130.0		128.0		125.0	130	125	135	○			130	100.00
	篠田雅士	男子	65	x	x	128.0	125.0	DSQ			128	125	135	○			130	98.46
	森井大輝	男子	65				120.0			125.0	125	125	135	○			130	96.15
	馬島誠	男子	97	140	x	147.0	155.0	145.0	155.0		155	155	165	○			160	96.88

大会開催日		2017.12.3～	2017.12.10	2017.12.17	1218.5.12～	2018.9.8～	2018.10.5～	2018.12.6～	突破者									
ランク	氏名	性別	階級	世界選手権 (メキシコ)	アジアユース	全日本	チャレンジカップ	アジアオセアニア 選手権	アジアパラ	アメリカ選手 権	2017-2018 ベスト記録	アジア 標準	パラ 標準	アジア 標準 突破	パラ標準 突破	アジア標準 に対する持ち記 録割合	世界選手権 標準	世界標準に 対する持ち記 録割合
C	成毛美和	女子	41				50.0		46.0		50	52	57			96.15	55	90.91
	中嶋明子	女子	45	DSQ	x	-	50.0	52.0			52	55	60			94.55	57	91.23
	マクドナルド山本恵理	女子	50	DSQ	x	53.0	53.0	DSQ			53	57	62			92.98	60	88.33
	森崎可林	女子	67					50.0	50.0		50	65	70			76.92	67/65	74.62/76.92
	松本崇	男子	49	80	x	-					80	95	105			84.21	100	80.00
	林剛史	男子	54				96.0				96	105	115			91.43	110	87.27
	竹内俊文	男子	59	x	x	-	105.0				105	115	125			91.30	120	87.50
	鈴木昭一	男子	72	x	x	125.0	120.0				125	132	142			94.70	137	91.24
	金谷晃央	男子	80				134.0	135.0			135	140	150			96.43	145	93.10
	佐藤芳隆	男子	80				134.0	135.0			135	140	150			96.43	145	93.10
石原正治	男子	88	x	x	133.0	137.0	145.0		140.0	145	147	157			98.64	152	95.39	
佐藤和人	男子	97							146.0	146	155	165			94.19	165	88.48	
松崎泰治	男子	107+	138	135	135.0		136.0	137.0		138	170	180			81.18	175 (162)	78.86/85.19	

注: 松崎選手はアジアユース銅メダル、また、森崎選手はまだ16歳であることを考え、ジュニアで今後の伸びが期待されることで、アジア標準の90%に達していませんが、強化指定Cに入ることが理率により承認されました。
注2: 松本選手は、2018年度JPPF強化指定ランク競技会(2017年ジャパンカップ)でアジア標準の90%以上をマークされていますが、ここでは、メキシコ以降の記録を表にいたしました。したがって、松本選手は、強化指定C選手です。
注3: 小林選手は、2017年ジャパンカップで60kgを上げていたので、パラリンピック標準は突破している。